

令和7年度「サイエンスかながわ（一日獣医師体験）」が開催されました

7月25日（金）、畜産技術センターで「サイエンスかながわ（一日獣医師体験）」を開催したところ、神奈川県内の小学生（5・6年生）25名と保護者の参加がありました。普及指導員は畜産業への理解を深めるため、参加者のサポートを行いながら、牛や畜産業についての説明を行いました。

参加者は、室内で獣医師の仕事について説明を受けた後、簡易聴診器作り、牛の尿検査と血液検査を行い、室外では、実際に牛の診察を体験し、家畜との触れ合いを通じて獣医の仕事と畜産業への理解を深めたようでした。

参加者からは「自分で作った聴診器で牛の心音を聴けた」、「尿と血液の検査をしたり血液を顕微鏡で見れておもしろかった」、保護者からは「濃密な内容で親子で大変勉強になった」等の感想が寄せられました。

○ 獣医師の仕事について

獣医師の仕事や獣医師資格の取得方法（獣医学科のある大学の紹介等）について説明を行い、単に動物が好きというだけでなく動物に真摯に向き合う覚悟が必要であることを学びました。

○ 簡易聴診器作り

聴診部（ロート、ラップ、輪ゴム）、チューブ（イヤープース部、ツナギ部）、Y字ジョイント、ワリバシ、輪ゴムを組み合わせて聴診器を組み立て、完成後は自分の心臓の音を確認しました。

○ 尿検査

尿検査では、試験紙を牛の尿に浸して、色の変化から牛の健康状態を確認しました。

○ 血液検査

血液検査では、採取した牛の血液を分析機器（ヘマトクリット管、遠心分離機、判定機等）を用いて赤血球等の成分の割合を調べるとともに、顕微鏡で血液成分を観察しました。

○ 牛の診察（視診・触診・聴診、体温・呼吸数・心拍数等の測定）

稟告（牛の様子を聞くこと）に続き、牛の体高、体重、体温の測定値を記録し、子ども達は自作した聴診器で心拍数を測定しました。

○ 閉講式（修了証授与）

所長から講評を述べた後、参加者全員に修了証が授与されました。





聴診器作り



尿検査の説明



顕微鏡で血液観察



牛の検診